さいかい産業　温度測定データ

RS-4

日本の森を育てたい

SAIKAI

株式会社 さいかい産業

試験概要

試験目的	最大燃焼時においての付近可燃物の表面温度の計測	
試験機	RS-4	製造番号　2015-00626
試験燃料	上伊那森林組合　ピュア1号	
測定器	サーモカメラ(インフレックR550) 温度計（TM-925）・・・底面測定のみ使用	
可燃物	構造用合板9mm厚	
測定者	加賀田優織	
測定場所	㈱新越ワークスＥＧ事業部内	
燃焼状態	本試験においては、燃料投入量・空気調節レバーを最大にした状態で感震装置を無効にし過熱熱防止センサーを有効とした。	
測定方法	１．ストーブ周囲に可燃物を設置	
	２．ストーブを燃焼させ、可燃物の温度上昇が無い事を確認し温度を計測	
	測定距離　炉面　正面　左側面　右側面　上面　背面 ①（cm）　ー　100　30　30　100　10	
	３．ストーブの可燃物の距離を縮め再度温度測定。	
	測定距離　炉面　正面　左側面　右側面　上面　背面 ②（cm）　ー　60　10　10　60　10	
測定日時	2019年6月10日	
	8:15	燃焼開始
	13:00	測定距離①温度測定　測定時気温24.4℃
	15:30	測定距離②温度測定　測定時気温24.1℃

■平成14年消防庁告示1号に基づく離隔距離の短縮

規定	内容
平成14年消防庁告示1号	周囲の壁の表面温度が100℃を超えない距離や引火しない距離を確保する等の措置を講じれば離隔距離を短縮することができること（室温35℃条件）

当社では上記規定に基づいて離隔距離の短縮を図る目安として、周囲の壁の表面温度が100℃未満となる距離として下記距離を確認しております。ただし、当該距離の設置適用に関しては各消防署長の判断となるため、設置場所を管轄する消防署の確認が必要です。

さいかい産業自社基準の離隔距離

機種	離隔距離（cm）			
	正面	側面	上面	背面
RS-4	100	30　※1	100	10

※1・・・コーナー設置時においてはタンク部から可燃物までの最短距離が10cm以上とすること。

RS-4温度測定

測定位置	離隔距離①（ｃｍ）	最高温度（℃）
炉面	―	387.8
正面	100	66.0
左側面	30	59.3
右側面	30	60.0
上面	100	59.3
背面	10	33.4
底面	―	33.0
給排気管	―	57.0
背面裏	―	28.3
測定時の室温（℃）		24.4

測定位置	離隔距離②（ｃｍ）	最高温度（℃）
炉面	―	386.2
正面	60	88.0
左側面	10	78.2
右側面	10	79.8
上面	60	71.0
背面	10	28.0
底面	―	31.3
給排気管	―	55.6
背面裏	―	33.6
測定時の室温（℃）		24.1

補足
正面壁の測定時の画像はサーモカメラで測定したが、
測定状態の撮影はできなかった。

測定状況

検証状態の写真（離隔距離①）



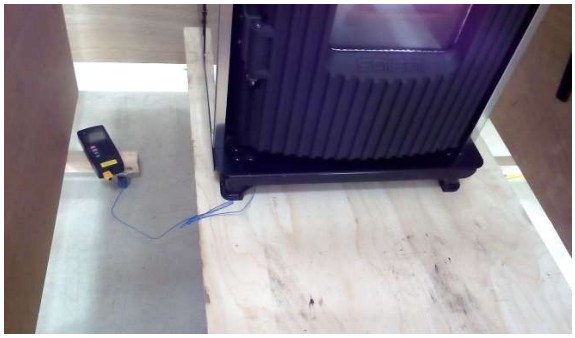
検証状態の写真（離隔距離②）



炉面・側面・上面の検証状態



底面の検証状態



背面の検証状態



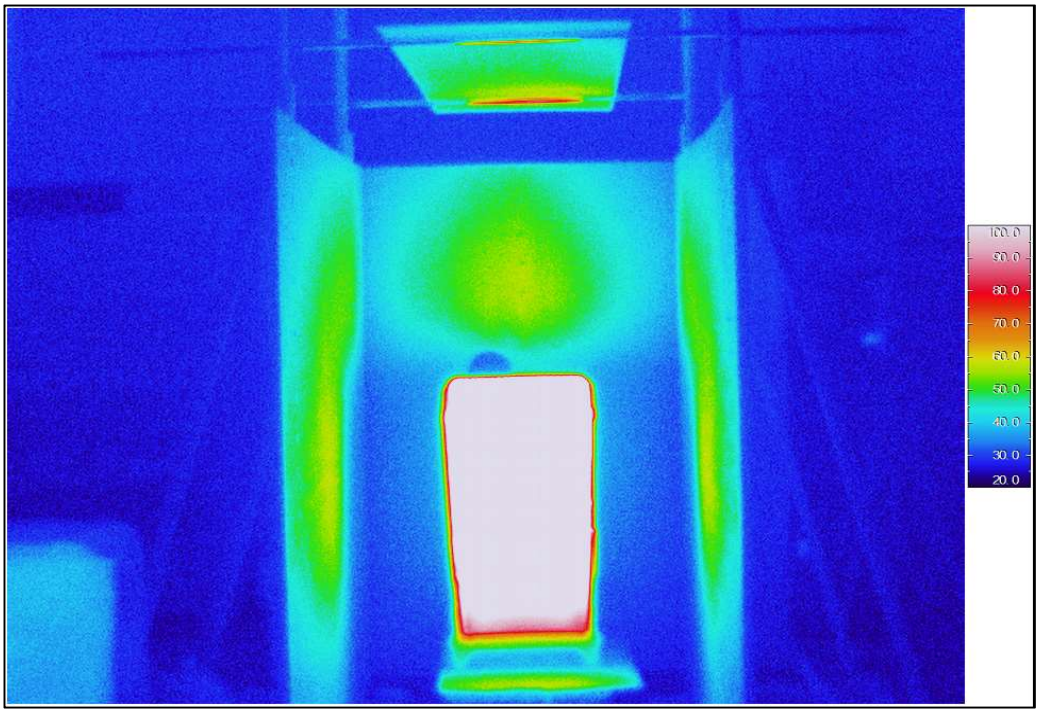
裏面（給排気管）の検証状態



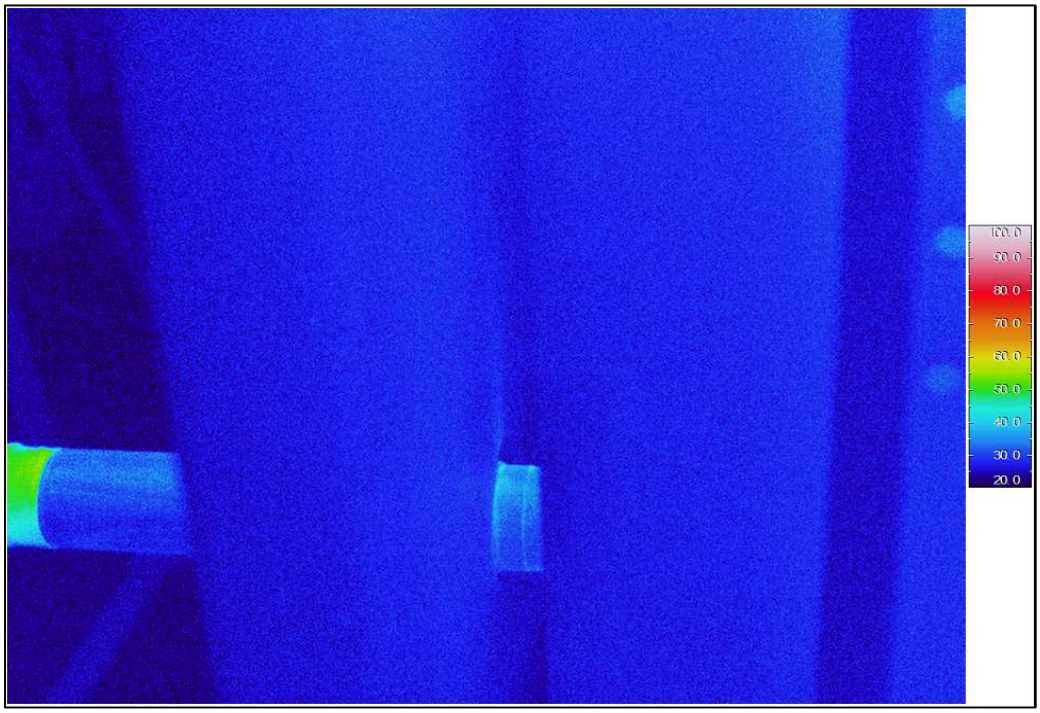
サーモ画像

離隔距離①

炉面・左右側面・上面の測定時の熱画像



背面の測定時の熱画像

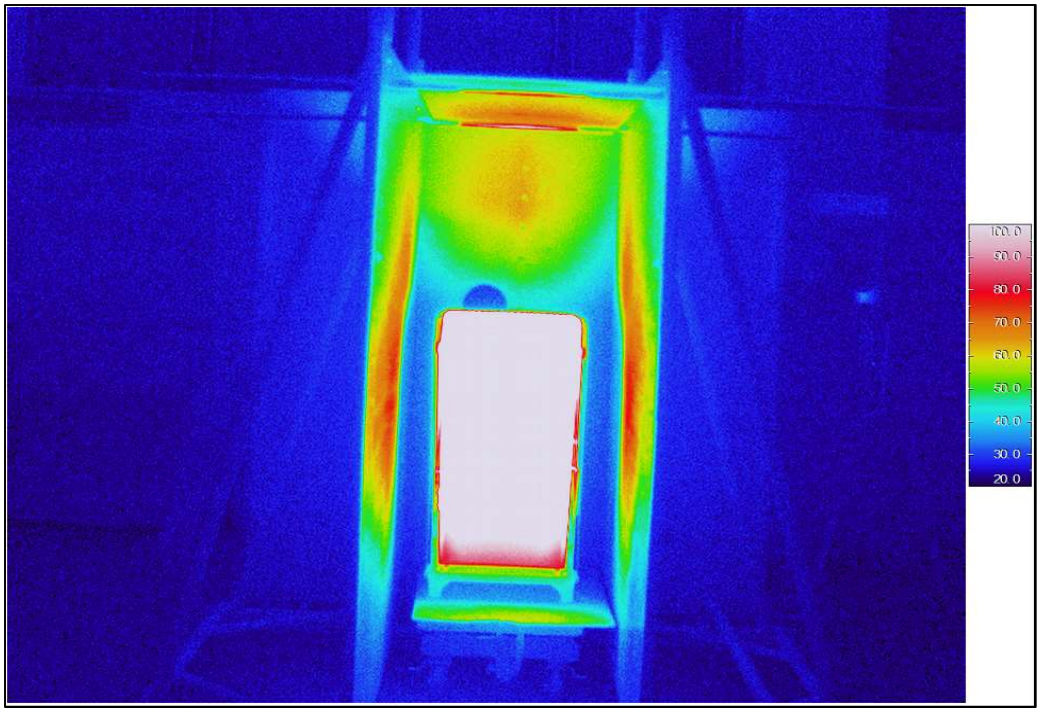


給排気管・背面裏の測定時の熱画像



離隔距離②

炉面・左右側面・上面の測定時の熱画像



背面の測定時の熱画像



給排気管・背面裏の測定時の熱画像

